

看護方法論

問、次の文を読み、○×で答えなさい。

- | | |
|---|---|
| 1. 一日の尿量の正常値は1,000～1,500mlである。 | ○ |
| 2. 快適な夏季の環境温度は19～24℃であり、
湿度は45～65%である。 | ○ |
| 3. 脈拍測定は親指、人差し指、中指の3指を用いて行う。 | × |
| 4. 廃用性症候群は病気で免疫が低下しているから起こるのであり、
健常者には起こりえない。 | × |
| 5. 病気は身体的変化だけでなく、心理的・社会的にも影響を及ぼす。 | ○ |
| 6. クロルヘキシン（商品名はヒビテン）はウイルスに効果が少ない。 | ○ |
| 7. 普通石鹸と逆性石鹸を共用すると効果が倍増する。 | × |
| 8. 左側臥位するとき、腋窩温は右より左のほうが高い。 | × |
| 9. 患者の清潔を保つためなら、どれほど時間をかけて念入りなケアを
してもよい。 | × |
| 10. 消毒液は濃度が濃いほど消毒効果は大きく、消毒用エタノールは、
100%が最もよく利用される。 | × |
| 11. 病室のリネン類やカーテンは汚れがわかりにくいものがよい。 | × |
| 12. 口腔検温法では、舌下中央部に水銀槽部を置く。 | ○ |
| 13. ベッドメイキングの際、ベッドの車輪は外向きにして、
ストッパーをかける。 | × |
| 14. 不感蒸泄は体熱の放散に関係しない。 | × |
| 15. 外気温に関わらず、快適であると感じる理想的な衣服気候は、
温度31～33℃、湿度40～60%、気流25±15cm/秒である。 | ○ |
| 16. 血圧の正常値は、年齢・性別が同じであれば、種族や食習慣を
問わず同程度の値を示す。 | × |
| 17. 褥瘡予防のためにエアーマット使用時は体位交換する必要はない。 | × |
| 18. 清拭の際、四肢は抹消から中枢に向かって拭くと血行がよくなる。 | ○ |
| 19. 血圧が低下した場合はベッドを上げ、頭部を高くする。 | × |
| 20. 体重の測定は空腹時であればいつ行ってもよい。 | × |
| 21. 汗をかいている時に体温を測定すると低めに出てしまう。 | ○ |
| 22. 和装では右みごろを前（上）に着せる。 | × |
| 23. 手洗いは肘から指先に向かって水分を拭き取る。 | × |
| 24. 不快指数＝0.72（湿球気温＋乾球気温）＋40.6である。 | ○ |
| 25. 仰臥位は身体の支持面が広く、筋肉を弛緩させやすい。 | ○ |